

日時：2021年12月26日（日）9:30～12:00

実施方法：オンライン会議

日本パーソナリティ心理学会第144回常任理事会議事録

出席：松田英子理事長，尾見康博副理事長，小塩真司，文野 洋，田中麻未，
向田久美子，森 津太子，中村 真，武田美亜

報告事項

I 理事長挨拶

II 山岡淳先生（名誉会員）のご逝去にともなう機関誌への追悼文掲載について

小塩編集委員長より，追悼文は1月末までに原稿が整えば次号に掲載可能であることが報告された。

III 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（小塩委員長）

(1) 機関誌発行状況

第30巻第3号が原著3篇，ショート8篇（うち事前登録追試研究1篇）を掲載して発行される予定である旨と，Linden先生の依頼論文原稿も審査中であり，掲載を間に合わせた旨の報告があった。

(2) 審査状況

以下の表の通り，審査状況について報告がなされた。

年月	採択	審査中	修正中	不採択	取り下げ	投稿時不採択	投稿数
2021							
1	2	10	10	1	1	0	1
2	4	9	6	2	2	1	7
3	1	11	8	1	1	0	9
4	2	10	13	0	1	0	6
5	0	18	5	1	3	1	5
6	7	10	8	1	0	2	7
7	2	13	6	4	0	1	5
8	1	10	8	0	0	0	3
9	3	14	9	4	0	0	6
10	1	6	9	0	0	0	2
11	4	7	9	2	0	0	3
12	2	8	4	2	0	0	1

(3) 英文誌掲載問い合わせへの対応

2017年にパーソナリティ研究に掲載された論文について，英文化して自分のHPで公開したいという問い合わせがあり，これに対して「論文全体をそのまま英訳するのではなく，何らかの形で要約あるいは解説を加える形で改編していただき（どこまで改編するかはお

任せしますが), 英文化して掲載するかぎりは構わない」と回答した旨の報告があった。

(4) 学術図書出版社からの問い合わせ

『大学生のための日本語アカデミック・ライティング基礎講座—レポート・論文のアウトラインから執筆まで—』への論文一部引用に関する問い合わせがあり, メールで審議し, 承認として回答した旨の報告があった。

(5) 編集委員会開催予定

12月28日(火)11:00よりオンラインで開催予定である旨の報告があった。

(6) 副委員長の呼称問題

学会内の各種内規の中で編集委員会の副委員長の呼称が統一されていないことが報告され, 統一の必要性について提案がなされた。12月28日開催予定の編集委員会をもって編集委員会から常任理事会に提案し, その後常任理事会で審議するという手順を進めることとした。

2 経常的研究交流委員会(田中委員長)

田中委員長より, 3月のシンポについて登壇者の男女バランスを取ること, 登壇メンバーを固定しないことを方針として, 現在企画検討中である旨が報告された。企画ができあがり次第, 常任理事会でメール審議をすることとした。

関連して, 学会HPの英語ページを修正する必要があることが確認された(年次大会情報, 海外招待講演者と寄稿論文情報, 会員数など)。併せて日本語ページも同様の情報を入れるなど, 学会HPの一部改編を広報委員会の方で検討することとした。

3 広報委員会(文野委員長)

(1) 活動報告

ウェブサイトの更新(7回), メールニュースの配信(26回), ML上での業務調整などの活動内容が報告された。

(2) YPP2021 実施報告について

別紙資料に基づき当日の様子, 参加者の感想および支出金額について説明があった。

関連して, 図書紹介や研究者紹介など, 広報委員会作成のコンテンツ自体の広報をする必要が指摘された。今後, コンテンツを周知する方法を委員会内で検討することを申し合わせた。

(3) YPP2022 進捗状況について

下記の4名を企画担当者として企画中であることが報告された。

木田千裕(企画担当代表: 名古屋大学 D2)

鎌尾美彩子(香川大学 M1)

澤田奈々実(早稲田大学 M2)

本田真大(九州大学 D1)

(4) 今後の活動予定（継続を含む）について

ウェブサイトの更新，メールニュースの配信（随時），委員分担コンテンツの更新，YPP2022 の企画サポートを行っていくことが報告された。

(5) 委員構成について

別紙資料に基づき説明があった。

4 学会賞選考委員会

向田委員長より，前委員長からの引き継ぎがなされたことと，今年度の進捗状況について，委員を検討中であることが報告された。

IV 日本心理学諸学会連合

松田理事長より，資料に基づき 12 月 19 日に行われた会議の報告がなされた。

各学会へ持ち帰り検討を要請されたこととして，心理学検定の宣伝を学会誌の裏に入れることの検討や，日心連 HP に掲載する各加盟学会の紹介文の執筆依頼があったことなどが報告された。審議の結果，広告挿入については，こちらの指定する形式に従ったものであれば掲載を受け入れると返事することとした。

各加盟学会の紹介執筆依頼（締め切り 2 月末，800～1600 字）については，広報委員会で担当することとした。

V その他

特になし

審議事項

I 財務関連事項

森財務担当常任理事より説明がなされた。1 月 12 日を締め切りに翌年度予算の要望を学会事務局あてに提出するよう，12 月 13 日付でメールを送信した旨が報告された。

II 第 31 回大会について

松田理事長より説明がなされた。来年度，主催校を置かず常任理事会が大会準備委員会となって沖縄で対面開催することについて提案があり，承認された。

2022 年 12 月 3 日（土）～4 日（日）沖縄自治会館での開催予定

大会準備委員会の委員長については松田・尾見・中村・森常任理事の間で引き続き検討し，その決定を一任することとした。

III 会員の入退会に関する件（事務局からの報告事項を含む）

(1) 新入会希望者，退会希望者，宛先不明者について

事務局より別紙資料の通り、新入会希望者 13 名（ML 審議にて承認済み 5 名を含む）、退会希望者 6 名が示され、審議の結果、承認された。併せて、宛先不明者について報告がなされた。

以上の承認を受けて、2021 年 12 月 15 日現在、会員総数は 880 名である（今回の審議対象である 8 名の新規入会希望者は含まない）。内訳は、一般会員 687 名、院生会員 180 名、学生会員 1 名、名誉会員 9 名、賛助会員 3 名。

IV 次回常任理事会の日程について

3 月 13 日午後または 3 月 19 日午前または午後に、オンラインで実施することとした。今後、ML 上で日程調整し決定する旨を申し合わせた。

V その他

特になし

以上